ゲストの声

わくわく、興奮。
自分たちの考えに
共感してもらえたと実感。

nom de cocoa
黒澤学志さん（写真左）、
裕子さん

暮らしが楽しくなるモノ／コトを実践する夫婦ユニット。習志野に居を構えたのをきっかけに、2015年から中央公園でピクニックイベントを開催。お互いにできることを持ち寄る形式で、共感の輪を広げる。

新しい出会いが
たくさん。
忘れがちだった空想を
掘り起こす良い機会！

Donna Popolo
古賀陽子さん

子育て中のママ7人による市民団体。「ママじゃない“わたし”を大切に」をコンセプトに、イベント開催や情報発信を手掛ける。美容や食育、親子で学べる場づくりなど、メンバーそれぞれの得意分野を活かして展開。

いろんな方と話して、
地域の横つなぎ
が生まれました。

千葉工業大学 鎌田研究室
青木和也さん（写真右）、
原良輔さん

市内2カ所にキャンパスを構える千葉工大で建築・土木分野からのまちづくりを実践。商店街や袖ヶ浦団地の活性化、市内3大学生による「まちづくりインカレ」などで地域課題の解決に取り組む。

ならしのスタディーズとは?

千葉県習志野市で活動する人物、ユニークな場所、街の魅力を発信するコミュニティです。長く住んでいる方から、最近引っ越してきた子育て世代、市内のキャンパスに通う大学生まで、さまざまな方が参加。2019年度開設予定の大久保地区公共施設再生事業での「フューチャーセンター※」を見据え、いろんな活動のタネを見つけて一緒に育てる場を目指します。

"ならしのスタディーズ"で検索　note #ならしのスタディーズ

※フューチャーセンター：誰もが参加できる未来志向で対話する場。仲間との出会い、発展的なアイデア、新しい活動など「ほしい未来をつくる市民を後押しするプラットフォーム」を担います。

なかま大募集！

参加希望はこちらまで
hello@drmt.info／電話：03-6231-7619

［企画・運営］まちづくり会社ドラマチック
〒110-0004 東京都台東区下谷 1-11-15-2F

［発 行］習志野市 政策経営部 資産管理課
〒275-8601 千葉県習志野市鷺沼 1-1-1
電話：047-453-7365

2017年3月発行

習志野の魅力を発掘！ 発信！

ならしのスタディーズ

NARASHINO STUDIES

習志野に住む人、働く人、興味がある人たちが集い、
お茶をしながらぺちゃくちゃおしゃべり。
これからの習志野をもっと楽しくするアイデアを持ち寄って、
みんなで未来に向けた作戦会議です！

中央公園（習志野市本大久保3）

広がる“空想(アイデア)”はじまる予感

暖かな春先の日曜日。
中央公園を臨むギャラリーに、
午前中からたくさんの人が集まりました。
この日は初のミーティング。
いろんなアイデアが飛び出しました!

会場：gallery&rental space 林檎の木

みんなが出来ることを持ち寄る

およそ40人の参加者でいっぱいの会場。まずは習志野を舞台にユニークな活動をしている3組のゲストが登場します。1組目は中央公園で手づくりのピクニック・カフェを開催する**「nom de cocoa」**。4歳の娘さんを持つ、黒澤学志さん・裕子さんのご夫婦ユニットです。

「この街つまらないと嘆くのではなく、楽しみを生み出せばいいと思った」と学志さん。お金を介さず、みんなが得意なことを「おすそわけ」し合って生み出すピクニック体験を紹介します。絵本を読んだり、手づくり品を持ち寄ったりと、ワクワクの輪が広がっています。

続いては子育て中のママ7人で活動する**「Donna Popolo」**。習志野のママに向けて、自分の時間を大切にできるような企画や講座を開催しています。「いろんな人の話を聞くうちにやりたいことが見つかる。ママの気持ちを後押しするキッカケになれば」と、代表の古賀陽子さん。

3組目は千葉工業大学でまちづくりの研究・実践を手掛ける**鎌田研究室**から青木和也さんと原良輔さん。

習志野は市内に3つの大学がキャンパスを置く大学の街でもあります。学生が集まって商店街の活性化のアイデアを出したり、市内の企業にオープンキャンパスへの参加を呼びかけたりといった活動を紹介しました。

企画のタネが続々と!

後半はグループに分かれてディスカッションです。気になるゲストのアイデアに、みんなで肉付けしていきます。話は盛り上がり、「コトの文化祭」、「みんなでつくる常設スペース」など楽しそうな企画のタネがいくつも生まれました。

さらに、自分ができることを宣言してもらう**「○○力（りょく）」**カードも活用。「絵本力」「ピザ力」「スポーツ力」「学生力」など、個性豊かな「力」が集まりました。これだけの力があれば、すぐにでもアイデアを形にできそうな勢いです。

参加者は、習志野で生まれ育った方から去年の年末に引っ越してきた人まで、年齢も職業もさまざま。共通するのは**「習志野で何かしてみたい」**という想いです。「気持ちがつながって良かった」、「自分でも何かやれる気がしてきた」――ここから何が育っていくのか、希望が膨らむ1日でした。